

LineLazer[®] 130HS エアレスラインストライパー

3A3808D
JA

ラインストライピング材料の用途向け。
一般目的では使用しないでください。

屋外使用専用。

爆発性雰囲気または危険区域では使用しないでください。

最大運転圧力 3300 psi (22.8 MPa、228 bar)

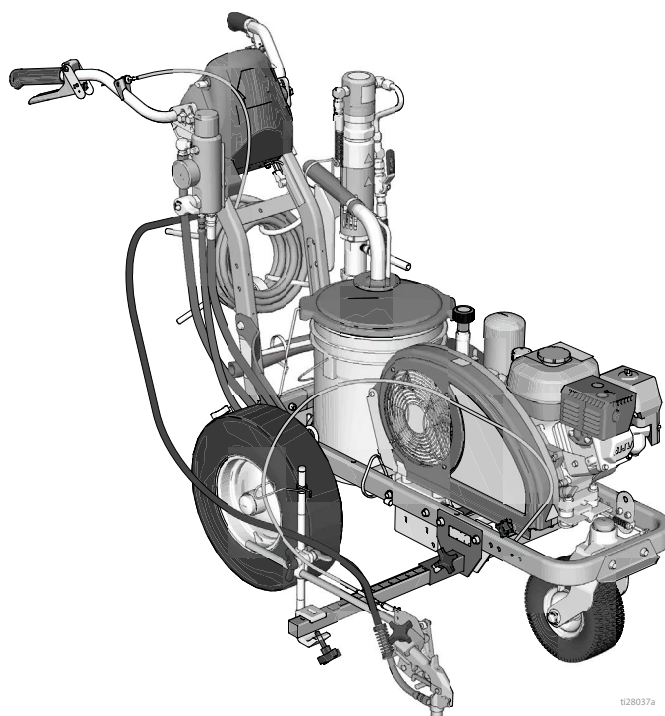


重要な安全上の指示

この取扱説明書および関連する説明書に記載されている警告と指示をすべてお読みください。
装置のコントロールと適切な使用方法を熟知してください。
説明書は保管して下さい。

LineLazer 130HS		
モデル:	標準 1 手動ガン	標準 2 手動ガン
17H447	✓	
17H448		✓
25P336 (中国)	✓	
25P337 (中国)		✓
2012212 (EMEA)	✓	

関連説明書:	
3A3391	部品
311254	ガン
311845	ポンプ



Graco 純正交換部品のみを使用してください。
純正ではない Graco 交換部品を使用すると保証の対象外になります。



目次

重要な接地情報	3	クリーンアップ	19
安全シンボル	4	メンテナンス	21
警告	5	LineLazer 130HS	21
チップの選択	8	トラブルシューティング	22
*先端の詰まりを防ぐために 100 メッシュフ ィルターを使用してください。.....	8	油圧オイル／フィルタ交換	24
構成部品の識別記号 (LL 130HS)	9	取り外し	24
接地手順		設置	24
(可燃性洗浄用液体のみ)	10	技術データ	25
圧力開放手順	10	カリフォルニア州法 65	26
セットアップ/始動	11	注意	27
SwitchTip™ とガードアセンブリ	13	Graco 標準保証	28
ガンの配置	14		
ガンを取り付けます	14		
ガンの位置調整	14		
ガンの選択	14		
ガンの位置のチャート	15		
ガンアームマウント	16		
ガンの位置の変更			
(前後)	16		
ガンの位置の変更			
(左右)	17		
取り付け	17		
ガンケーブルの調整	17		
直線の調整	18		
ハンドルバーの調整	18		

重要な接地情報

以下の情報は、ご利用のストライパーに付属している接地線とクランプの使用タイミングを把握するのに役立つことを目的としています。可燃性材料で洗い流したり、洗浄したりするときに必要です。

材料容器ラベルにある情報を読んで、可燃性かどうかを確認してください。サプライヤーから安全データシート (SDS) を入手してください。容器のラベルと SDS には、材料の成分や材料に関する特別な安全上の注意についての説明が含まれています。

洗浄剤は一般的に、以下の **基本となる 3 つの種類の一つに属します**。

接地線とクランプは必要ですか？	洗浄剤の種類
はい 	可燃性: この種の材料には、キシレン、トルエン、ナフサ、メチルエチルケトン、ラッカーシンナー、アセトン、変性アルコール、テレピン油などの可燃性溶剤が含まれます。容器ラベルは、この材料が引火性であることを示しています。可燃性の材料は、屋外または換気が十分にされた、風通しの良い建物内で使用してください。この種の材料を使用する場合は、 接地手順 (可燃性洗浄用液体のみ) 、10 ページに従ってください。
いいえ	油性: 容器ラベルは、材料が可燃性であり、ミネラルスピリットや難燃性塗料用シンナーで洗浄できることを示している必要があります。
いいえ	水: スプレーされている材料の容器ラベルは、その材料が石鹼や水で洗浄できることを示しています。

注: スプレーガンを手で使用すると、静電気の蓄積や感電が発生する恐れがあります。ストライパーを接地面に配置できず、接地線とクランプを金属製の支柱に接続できない場合は、以下のことを試して、静電気蓄積リスクを減らしてください。

- 草などにスプレーをするとき、接地面に立つ
- 別の種類の靴を履く

安全シンボル

以下の安全記号は本取扱説明書全体および警告ラベル上にあります。下の表を読んで各記号の意味を理解することが重要です。

記号	意味
	火傷の危険
	装置誤用による危険性
	巻き込みの危険性
	火災と爆発の危険
	可動部品の危険
	皮膚への噴射の危険性
	皮膚への噴射の危険性
	飛沫の危険性
	有毒な液体又は蒸気の危険性

記号	意味
	着火源を取り除いてください
	液漏れを手、体、手袋、またはウエスで止めないで下さい
	液体アウトレットの近くに手や体の一部を置かないでください
	装置の接地
	マニュアルを読む
	圧力開放の手順に従ってください
	作業場を換気してください
	作業者の安全保護具を着用してください



安全注意記号

記号の意味：注意！警戒！重要な安全上のメッセージが記載されていますので、取扱説明書を通じてこの記号に注意してください。

警告

以下の安全記号は本取扱説明書全体および警告ラベル上にあります。下の表を読んで各記号の意味を理解することが重要です。

 警告	
   	火災と爆発の危険性 作業場に、溶剤、ガソリン、塗料の蒸気といった可燃性蒸気が存在すると、発火または爆発するおそれがあります。装置内を流れる塗料や溶剤は、静電気スパークの原因となります。火災と爆発を防止するために： ・ 十分換気された場所でのみ使用するようにしてください。 ・ 表示灯やタバコの火、懐中電灯およびプラスチック製シート (静電スパークが発生する恐れのあるもの) などのすべての着火源は取り除いてください。 ・ 作業場にある全ての装置を接地してください。接地の説明を参照してください。 ・ 溶剤を高压でスプレーしたり洗浄したりしないでください。 ・ 溶剤、ウェスおよびガソリンなどの異物を作業場に置かないでください。 ・ 可燃性の気体が充満している場所で、電源コードの抜き差しや電気や電灯のスイッチのオン/オフはしないでください。 ・ 接地されたホースのみを使用してください。 ・ ペール缶に向けて引き金を引く場合、ガンを接地された金属製ペール缶の縁にしっかりと当ててください。静電気防止または導電性でない限り、ペール缶ライナーは使用しないでください。 ・ 静電気スパークが生じた場合、または感電したと感じた場合、操作を直ちに停止してください。問題を特定し、修正するまでは、装置を使用しないでください。 ・ 作業場には消火器を置いてください。 ガソリン蒸気は発火や爆発するおそれがあります。火災と爆発を防止するために： ・ エンジンの運転中または熱い間は、燃料タンクに燃料を入れたり、燃料タンクキャップを外したりしないでください。エンジンを停止して冷却させてください。燃料は引火性であり、熱された面のう上またはその近くにこぼれた場合、発火または爆発するおそれがあります。 ・ 燃料タンクに過剰に給油しないでください。こぼれた燃料をきれいに拭き取り、給油場所から装置を移動してから、エンジンを始動してください。 ・ 屋内で燃料タンクには給油しないでください。装置が地上に置かれているとき以外は給油しないでください。
    	高压噴射による皮膚への危険性 高压スプレーにより、体内に有害物質が入り込み、重傷を引き起こす恐れがあります。万一肌に付着した場合は、直ちに外科的処理を受けてください。 ・ 人間もしくは動物に向かってガンやスプレーを発射しないでください。 ・ 手やその他の体の部位を噴射部分に近づけないでください。例えば、身体のいかなる部分を使って液漏れを止めようとししないでください。 ・ ノズル先端ガードを常に使用してください。ノズル先端ガードが定位置にない場合は、スプレーを行わないでください。 ・ Graco のノズルチップをご利用ください。 ・ ノズルチップの清掃および交換は注意深く行ってください。ノズルチップがスプレー中に詰まった場合は、ノズルチップを清掃のために取り外す前に、圧力開放手順に従い、装置の電源をオフにして圧力を開放してください。 ・ 装置は電源切断後も圧力を維持します。機器の電源をオンにしたまま、または加圧中のままで放置しないでください。装置が無人であったり使用されていなかったりする場合は、稼働、清掃、または部品の取り外しを行う前に、圧力開放手順に従ってください。 ・ 損傷の兆候があるホースや部品がないか確認してください。損傷したホースや部品があれば、交換してください。 ・ このシステムは、3300 psi の生成能力があります。最低 3300 psi の定格を持つ Graco 製の交換部品やアクセサリを使用してください。 ・ スプレーを中断するときは、引き金ロックをかけてください。引き金ロックが正しく機能しているか確認してください。 ・ 機器を操作する前に、すべてしっかりと接続されていることを確認してください。 ・ 手早く機器を停止する方法、圧力を除去する方法を学んでおいてください。コントロール類をよく知っておいてください。

警告

	一酸化炭素の危険性 排気には、無色無臭の有毒な一酸化炭素が含まれています。一酸化炭素を吸引すると、死亡する恐れがあります。 密閉した場所で内燃エンジンを操作しないでください。
 	装置誤用による危険性 誤用は死あるいは重篤な怪我の原因となります。 - 疲労状態のときや、薬を服用しているときや飲酒状態のときは、装置を操作しないでください。 - システム内で耐圧・耐熱定格が最も低い部品の最大使用圧力・最高使用温度を超えないようにしてください。すべての機器説明書の技術データを参照してください。 - 装置の接液部に適合する液体と溶剤を使用してください。すべての機器説明書の技術データを参照してください。液体および溶剤製造元の警告も参照してください。使用している化学物質に関する詳しい情報については、販売代理店または小売店から安全データシート (SDS) を取り寄せてください。 - 機器が通電中あるいは加圧中の場合は作業場を離れないでください。 - 装置を使用していない場合は、すべての装置の電源を切断し、圧力開放手順に従ってください。 - 装置は毎日点検してください。メーカー純正の交換用部品のみを使用し、磨耗または破損した部品を直ちに修理または交換してください。 - 装置を改造しないでください。装置を改造または変更すると、認証機関の承認が無効になり、安全上の危険が生じる場合があります。 - すべての装置が使用する環境に対して認定され、承認されていることを確認してください。 - 装置を定められた用途以外に使用しないでください。詳しくは販売代理店にお問い合わせください。 - ホースとケーブルは通路、鋭利な物、可動部品、高温の装置から離してください。 - ホースをねじったり、過剰に曲げたり、ホースを使用して装置を引き寄せたりしないでください。 - 子供や動物を作業場から遠ざけてください。 - 適用されるすべての安全に関する法令に従ってください。
	加圧状態のアルミ合金部品使用の危険性 加圧された装置内でアルミニウムと混合不可能な液体を使用した場合、深刻な化学反応や装置の破裂を引き起こすことがあります。この警告に従わない場合、死亡や重傷、物的損害が発生する可能性があります。 1,1,1-トリクロロエタン、塩化メチレン、その他のハロゲン化炭化水素溶剤、またはこれらを含む液体は使用しないでください。 - 漂白剤を使用しないでください。 - 他の多くの液体も、アルミニウムと反応する恐れのある化学物質を含んでいる場合があります。適合性については、材料供給元にお問い合わせください。
 	可動部品の危険 可動部品は指や身体の一部を挟んだり、切ったり、切断する可能性があります。 - 可動部品に近づかないでください。 - 保護ガードまたはカバーを取り外したまま機器を運転しないでください。 - 圧力がかかった装置は、突然 (前触れもなく) 起動することがあります。装置を点検、移動、または整備する前には、圧力開放手順に従い、すべての電源の接続を外してください。
 	巻き込みの危険性 回転している部品は、重傷事故を引き起こす可能性があります。 - 可動部品に近づかないでください。 - 保護ガードまたはカバーを外したまま装置を操作しないでください。 - 機器を操作するときは、ゆったりとした服装、宝石類、長髪を身につけないこと。 - 装置は、いきなり始動することがあります。装置を点検、移動、またはサービスする前に、圧力開放手順に従ってすべての電源接続を外してください。



警告



有毒な液体または蒸気の危険性

有毒な液体や気体が目に入ったり、皮膚に付着したり、それらを吸い込んだり、飲み込んだりすると、重傷を負ったり死亡したりする原因となる恐れがあります。

- 安全データシート (SDS) を読み、ご使用の液体に特有の危険性について熟知してください。
- 有毒な液体は保管用として許可された容器に保管し、廃棄する際には適用されるガイドラインに従ってください。



火傷の危険

運転中、機器の表面や液体は加熱されて非常に高温になる可能性があります。重度の火傷を避けるためには:

- 高温の液体や装置に触らないでください。

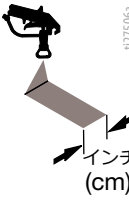
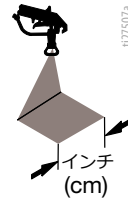
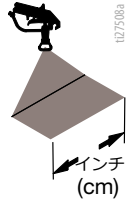
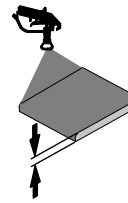
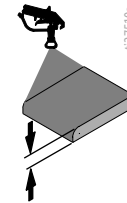
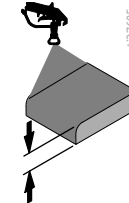


個人用保護具

作業場にいる際、目の怪我、難聴、毒性ガスの吸引、および火傷を含む大怪我から自身を守るために、適切な保護具を身につける必要があります。この保護具には以下のものが含まれますが、これらに限定されません。

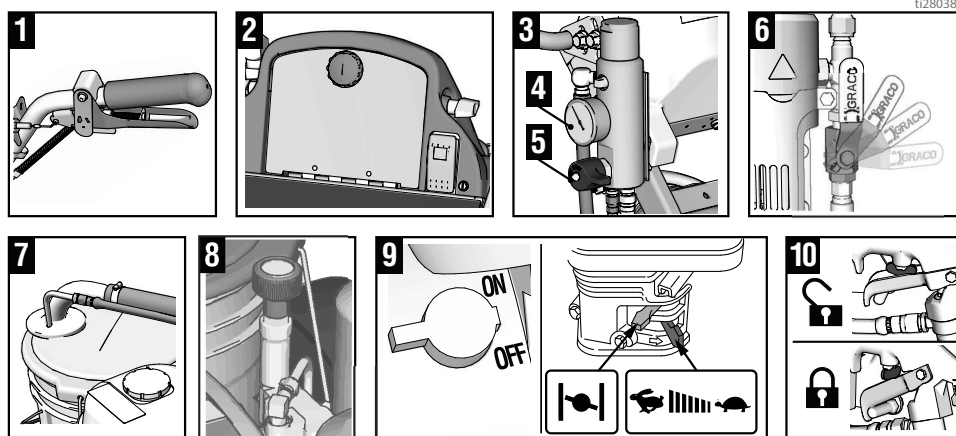
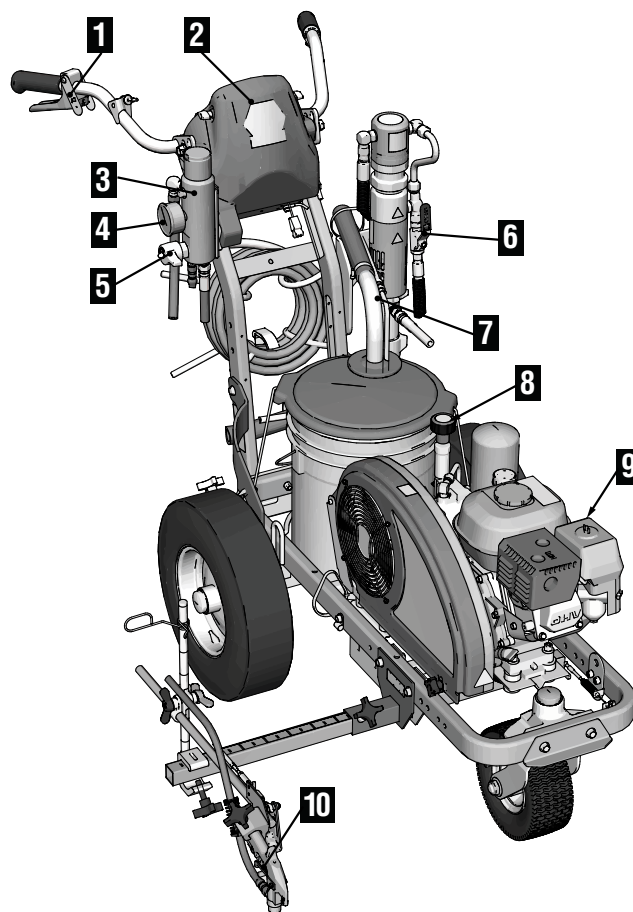
- 保護めがねと聴覚保護。
- 液体および溶剤の製造元が推奨するマスク、保護衣および手袋。

チップの選択

							
ti27606a	ti27505a インチ (cm)	ti27506a インチ (cm)	ti27507a インチ (cm)	ti27508a インチ (cm)	ti27509a	ti27510a	ti27605a
LL5213*	2 (5)				✓		
LL5215*	2 (5)					✓	
LL5217		4 (10)				✓	
LL5219		4 (10)					✓
LL5315		4 (10)			✓		
LL5317		4 (10)			✓		
LL5319		4 (10)				✓	
LL5321		4 (10)				✓	
LL5323		4 (10)				✓	
LL5325		4 (10)					✓
LL5327		4 (10)					✓
LL5329		4 (10)					✓
LL5331		4 (10)					✓
LL5333		4 (10)					✓
LL5335		4 (10)					✓
LL5355		4 (10)					✓
LL5417			6 (15)		✓		
LL5419			6 (15)		✓		
LL5421			6 (15)		✓		
LL5423			6 (15)			✓	
LL5425			6 (15)			✓	
LL5427			6 (15)			✓	
LL5429			6 (15)			✓	
LL5431			6 (15)				✓
LL5435			6 (15)				✓
LL5621				12 (30)	✓		
LL5623				12 (30)	✓		
LL5625				12 (30)	✓		
LL5627				12 (30)	✓		
LL5629				12 (30)	✓		
LL5631				12 (30)		✓	
LL5635				12 (30)		✓	
LL5639				12 (30)			✓

*先端の詰まりを防ぐために 100 メッシュフィルター
を使用してください。

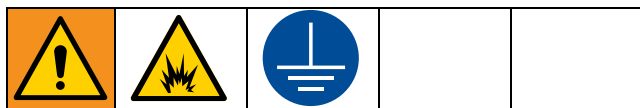
構成部品の識別記号 (LL 130HS)



1	手動スプレーガントリガー
2	保管ボックス
3	フィルター
4	圧力計
5	吸込み/圧力解放バルブ

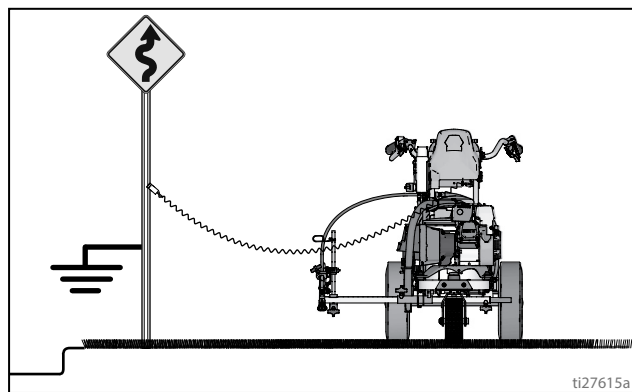
6	ポンプON/OFFレバー
7	ドレインおよびサイフォンチューブ
8	圧力コントロール
9	エンジンのオン/オフスイッチ
10	引き金の安全装置

接地手順 (可燃性洗浄用液体のみ)



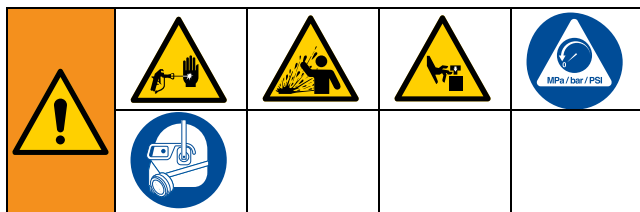
本装置は静電火花の危険を減少させるために接地する必要があります。静電気によるスパークによって、気体の引火または爆発が生じることがあります。接地することで、ワイヤを通して電流を逃すことができます。

1. タイヤが舗装部分に来ないように、ストライパーの位置を調整してください。
2. ストライパーは接地クランプが付属した状態で発送されます。接地クランプは接地されている物体に接続される必要があります (例: 金属製の道標)。



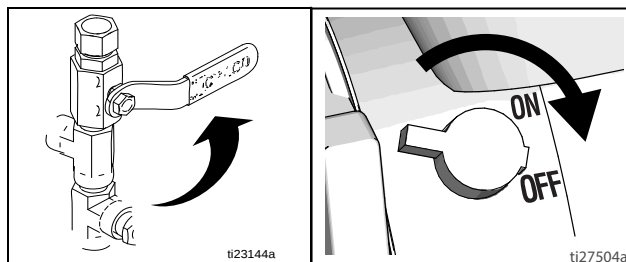
3. 洗浄が完了した後で、接地クランプを外します。

圧力開放手順

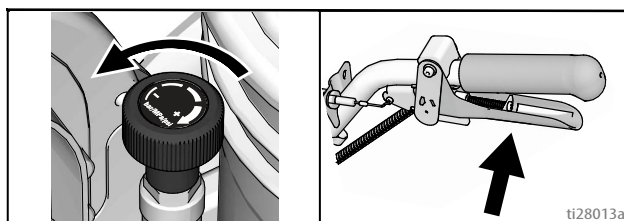


本装置は、圧力が手動で開放されるまでは、加圧状態が続きます。加圧状態の液体による皮膚の貫通などの重大な傷害を避ける、また液体の飛散や可動部品から生じる重大な傷害を避けるため、ディスペンスの停止の後、および装置の清掃、点検、サービス作業の前に、圧力開放手順に従ってください。

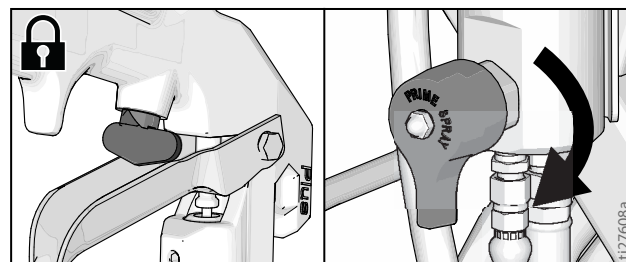
1. 可燃性の材料を使用する場合は、**接地手順**を実行してください。
2. スイッチをオフにします。エンジンをオフにします。



3. 圧力コントロールを最低設定まで回します。すべてのガンのトリガーを引いて圧力を開放します。



4. すべてのガンのトリガーロックを掛けて下さい。プライムバルブを下げます。

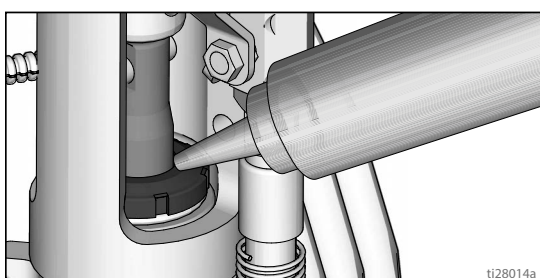


5. スプレー先端やホースが詰まっているか、圧力が完全に解放されていないと思われる場合、以下の操作を行います。
 - a. 先端ガード保持ナットまたはホース端結合部をごくゆっくりと緩めて、徐々に圧力を解放します。
 - b. ナットまたはカップリングを完全に緩めます。
 - c. ホースや先端の詰まりを除去します。

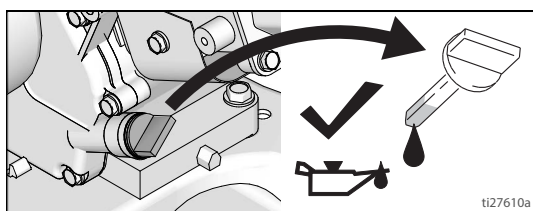
セットアップ/始動

本装置は、圧力が手動で開放されるまでは、加圧状態が続きます。皮膚の貫通などの加圧状態の液体、液体の飛散、および可動部品から生じる重大な怪我を避けるには、スプレー停止後と機器を清掃、点検、および整備する前に、圧力開放手順に従ってください。

1. 圧力開放手順、10 ページ を実施してください。
2. 可燃性材料を使用している場合、**接地手順 (可燃性洗浄用液体のみ)**、10 ページを実施します。
3. パッキンの摩耗を抑えるために、スロートパッキンナットにスロートシールリキッド (TSL™) を充填します。

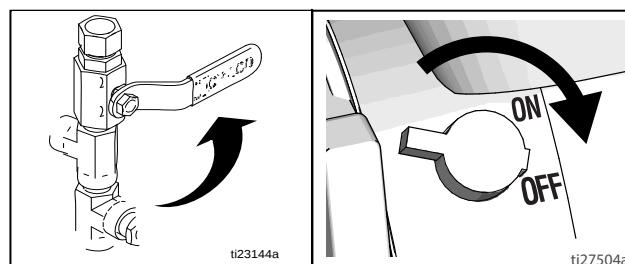


4. エンジンオイル量を点検します。SAE 10W-30 (夏) または 5W-30 (冬) を追加します。エンジン説明書を参照してください。

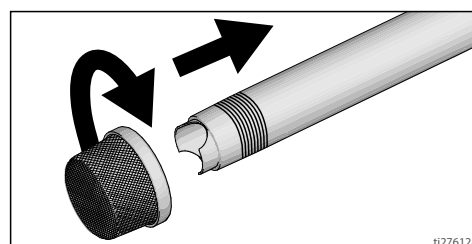


5. エンジンが冷めるまで待ちます。キャップを外し、燃料タンクに給油します。キャップをしっかりと固定します。ホンダのエンジン説明書を参照してください。

6. スイッチを **オフ** にします。



7. 取り外している場合、ストレーナーを取り付けます。

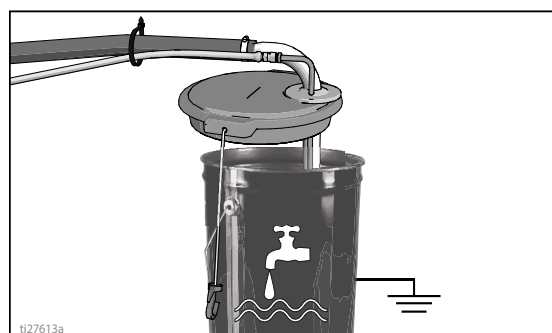


8. プライムバルブを下げます。圧力コントロールを反時計回りに回し、圧力最低の位置にします。



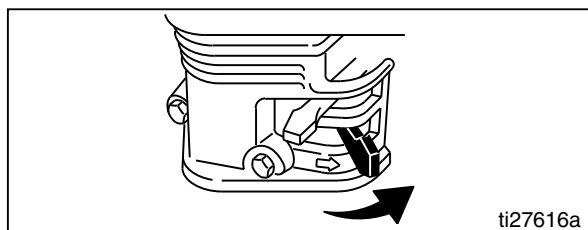
注: 適切なスプレーヤの動作を提供する最小許容ホースサイズは、LL130HS の場合、3/8 インチ x 22 フィートです。

9. 洗浄用液体がある程度入っている接地済みの金属缶にサイフォンチューブを入れます。接地用ワイヤを実際のアースグラウンドに接続します。水性塗料を洗浄する場合は水を使用し、油性塗料およびストレージオイルの場合は、ミネラルスピリットを使用します。

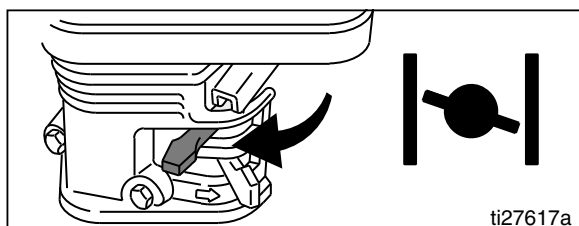


10. エンジンを始動させます。

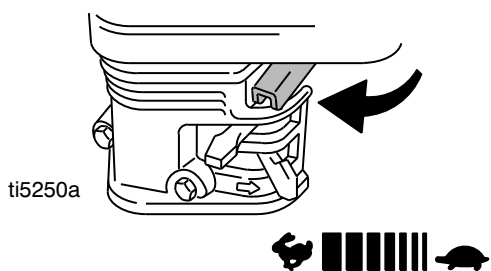
- a. 燃料バルブを「開」の位置にします。



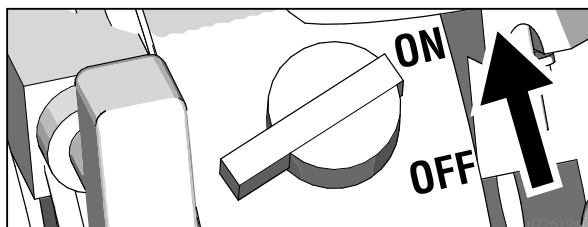
- b. チョークを「閉」の位置にします。



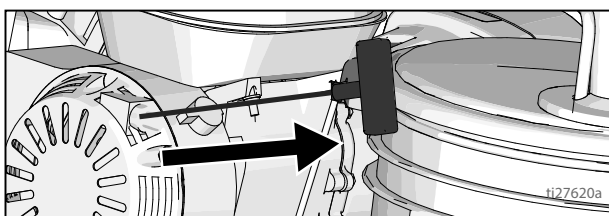
- c. スロットルを「高速」の位置まで回します。



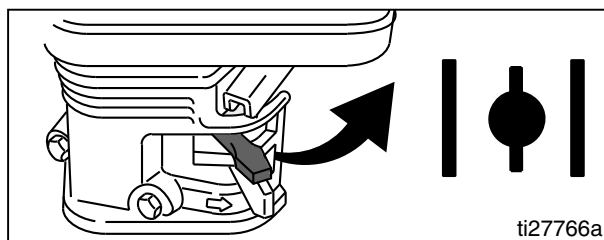
- d. エンジンスイッチをオンにします。



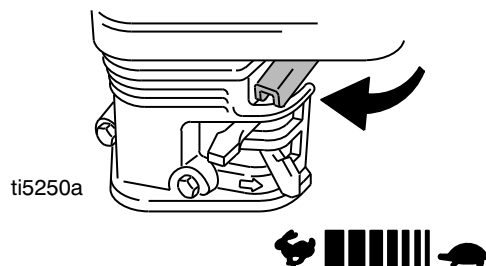
- e. スターターコードを引きます。



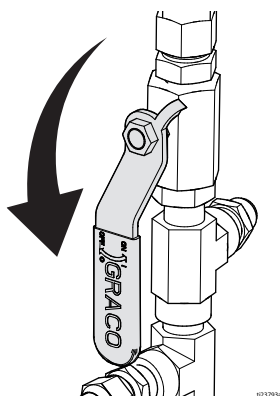
11. エンジンが始動したら、チョークを「開」の位置にします。



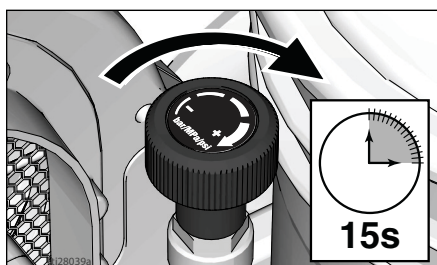
12. スロットルを希望の設定にセットします。



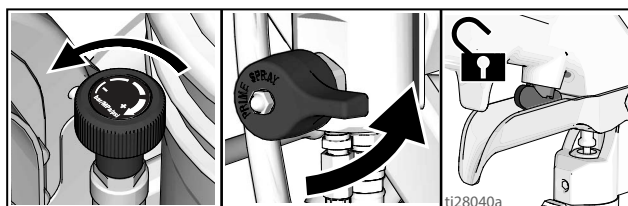
13. ポンプスイッチを **ON** に設定します (これでポンプが作動します)。



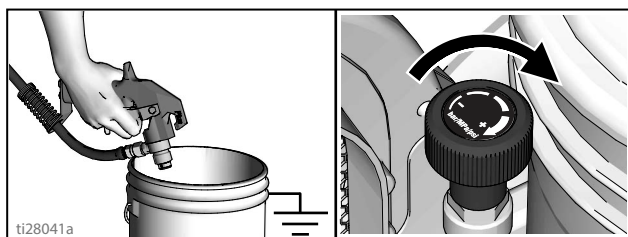
14. 圧力コントロールをポンプの始動に十分な程度に増加させます。液体を 15 秒間循環させます。



15. 圧力を下げ、プライムバルブを水平位置にします。ガンの引き金ロックを外して下さい。



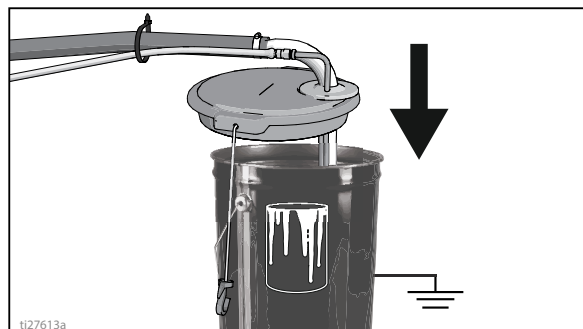
16. ガンを接地した金属製洗浄用容器に押し付けます。ガンの引き金を引き、ポンプがスムーズに作動するまで液体圧力を上昇させます。



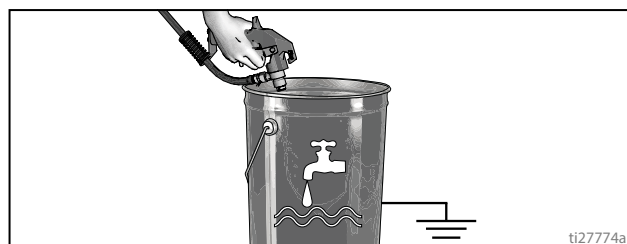
高圧スプレーは体内に毒物を注入して、重傷を引き起こすおそれがあります。手や雑巾で漏れを止めようとししないでください。

17. 取り付け金具に漏れがないか点検します。漏れが生じた場合は、スプレーヤーをすぐにオフにしてください。圧力開放手順を実行してください。漏れのある金具を締めます。セットアップ/始動の手順 1~17 を繰り返します。漏れがない場合、ガンの引き金を引き続けて装置を完全に洗浄します。手順 18 に進みます。

18. 塗料缶の中にサイフォンチューブを入れます。

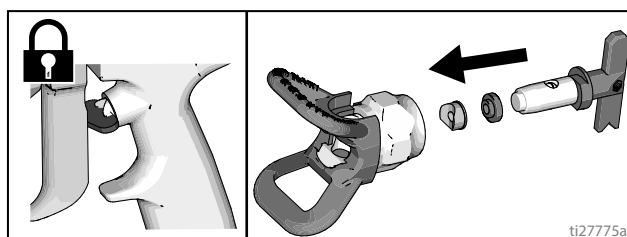


19. 塗料が出て来るまで、再度洗浄液容器の中に向けてガンのトリガーを引きます。チップとガードを組み付けます。

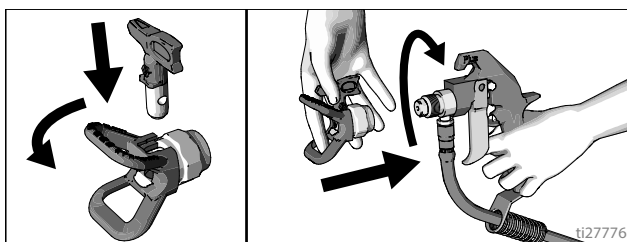


SwitchTip™ とガードアセンブリ

1. 引き金ロックをかけます。SwitchTip の端を使用し、OneSeal™ をカーブ適合チップボアでチップガードに押し込みます。



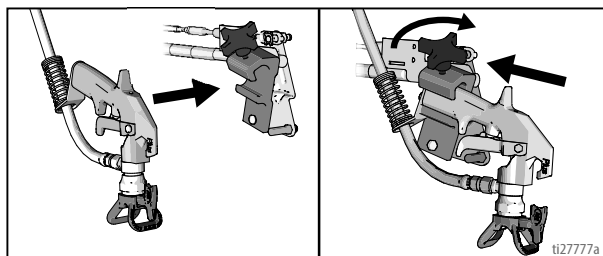
2. スイッチ先端をチップボアに挿入して、アセンブリをガンにしっかりとねじ込みます。



ガンの配置

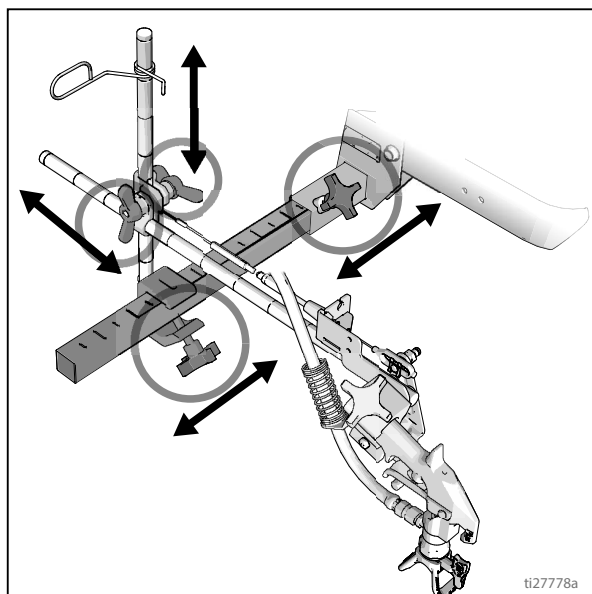
ガンを取り付けます

1. ガンをガンホルダーに挿入します。クランプを締めます。

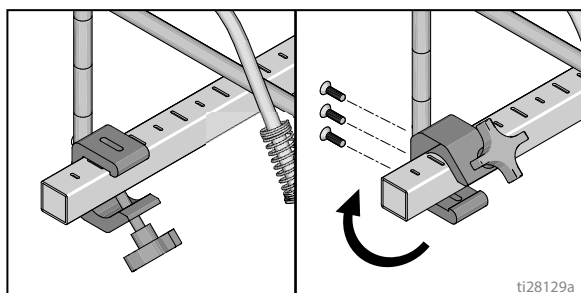


ガンの位置調整

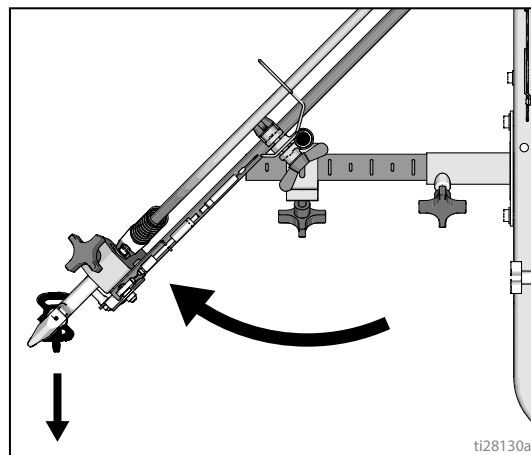
2. ガンの位置を上下、前後、左右に向けます。ガンの位置の変更 (前後)、16 ページ、および ガンの位置の変更 (左右)、17 ページを参照してください。



注: 縁石の上でストライピングを行う場合、邪魔にならないように取り付けクランプを回転させることができます。

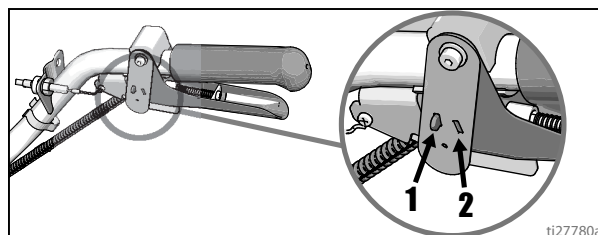


あるいは、ガンを傾けて、チップガードを回転させるという選択肢もあります。これにより、使用者にとって見やすくなります。

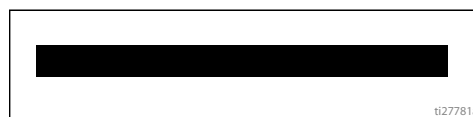


ガンの選択

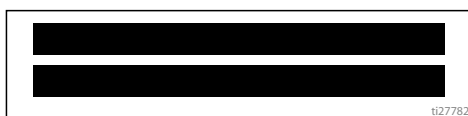
3. ガンケーブルを左または右のガンセクタプレートに接続します。



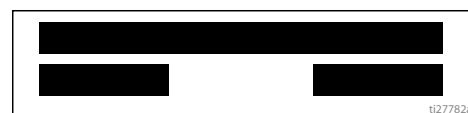
- a. 1つのガンを使用: 1つのガンのセクタプレートを引き金から外します。



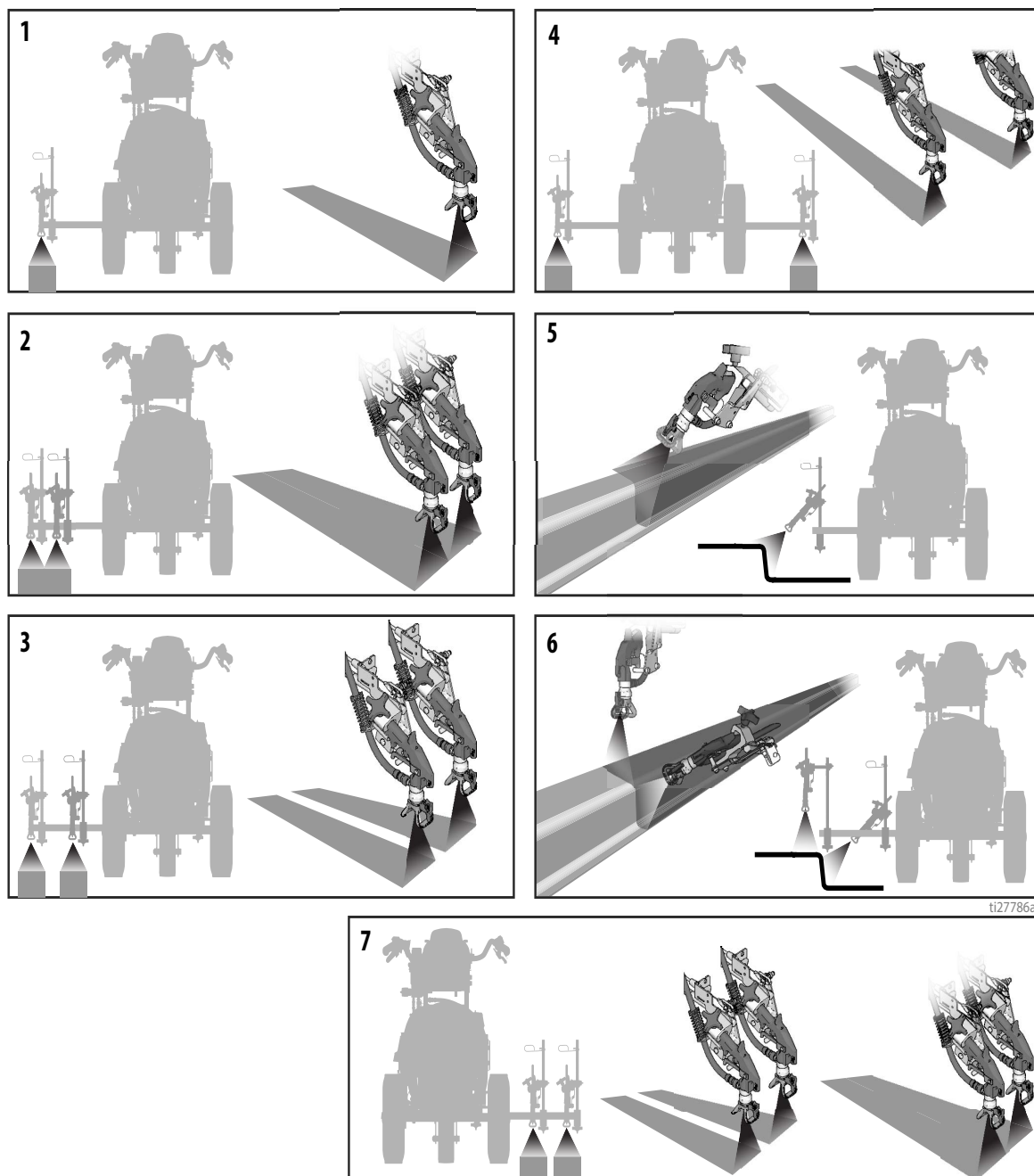
- b. 両方のガンを同時に使用: 両方のガンのセクタプレートを同じ位置に調整します。



- c. 実線-破線および破線-実線: 実線ガンを位置1に、破線ガンを位置2へ調整します。



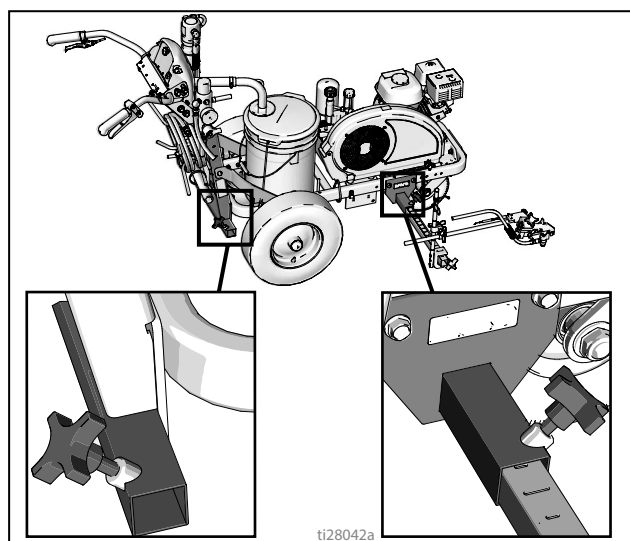
ガンの位置のチャート



1	1 線
2	1 線、最大 61 cm (24 インチ) の幅
3	2 線
4	障害物の周囲にスプレーする1線または2線
5	1ガン、縁石
6	2ガン、縁石
7	1 線または2線、最大 61 cm (24 インチ) の幅

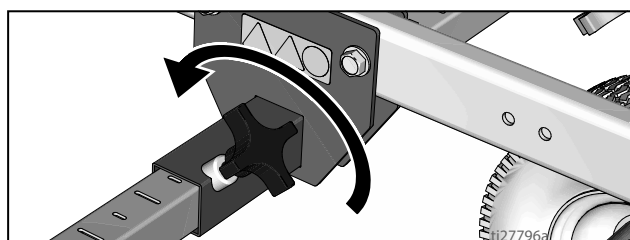
ガンアームマウント

本装置には、前部ガンアームマウントが備えられています。

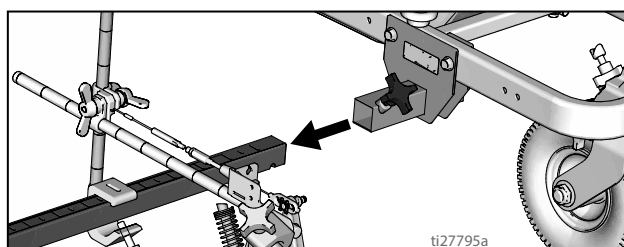


ガンの位置の変更 (前後)

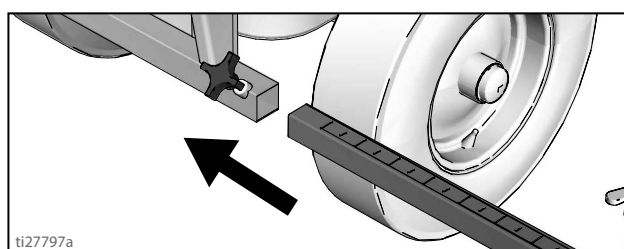
1. ガンアームノブを緩めて、ガンアームマウンティングスロットから取り外します。



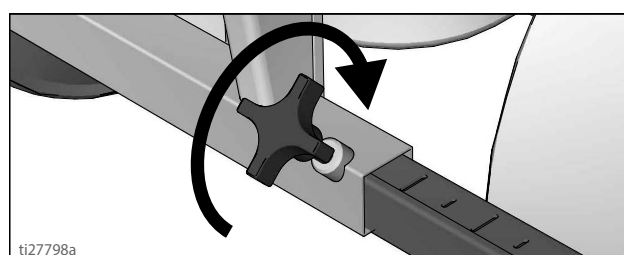
2. ガンアームアセンブリ (ガンとホースを含む) をスライドさせて、ガンアームマウンティングスロットから取り外します。



3. ガンアームアセンブリをガンアームマウンティングスロットにスライドさせて挿入します。



4. ガンアームノブをガンアームマウンティングスロットに締め付けます。



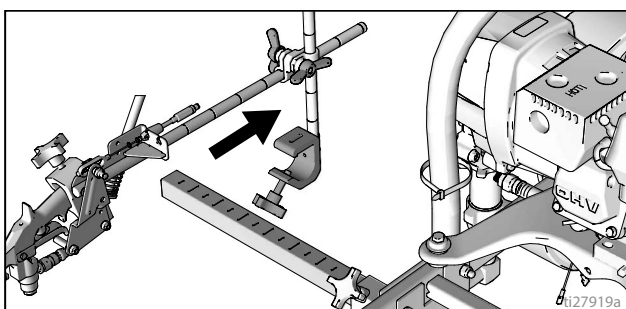
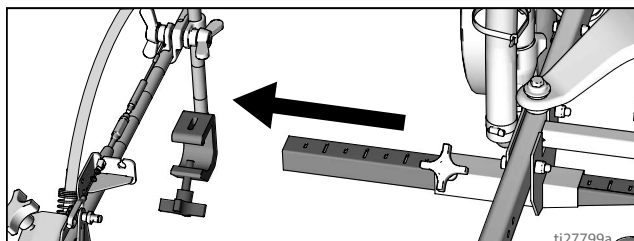
注

すべてのホース、ケーブル、ワイヤーがブラケットを通して適切に敷かれていて、タイヤに擦らないことを確認します。タイヤと接触すると、ホース、ケーブル、ワイヤーの損傷につながります。

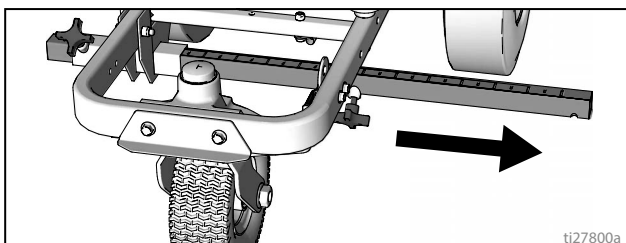
ガンの位置の変更 (左右)

取り外し

1. 垂直ガンアームマウンティングバーのガンアームノブを緩め、外します。

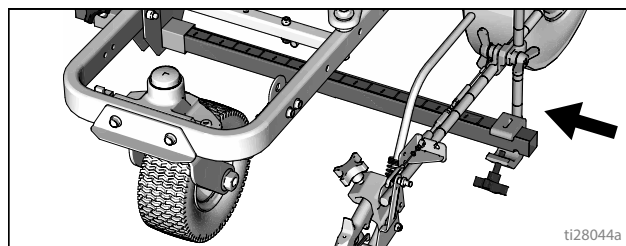


2. 垂直ガンアームマウンティングバーを機械の反対側へ延ばします。



取り付け

1. 垂直ガンマウントをガンバーに取り付けます。

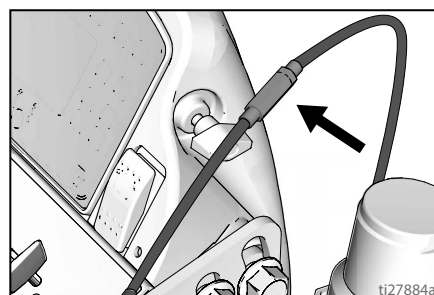


注: すべてのホース、ケーブル、ワイヤーがブラケットを通して適切に敷いてください。

ガンケーブルの調整

ガンケーブルを調整すると、トリガープレートとガントリガーの間隔が増減します。トリガーの間隔を調整するには、これらの手順に従います。

1. レンチを使用して、ケーブル調節器のロックナットを緩めます。

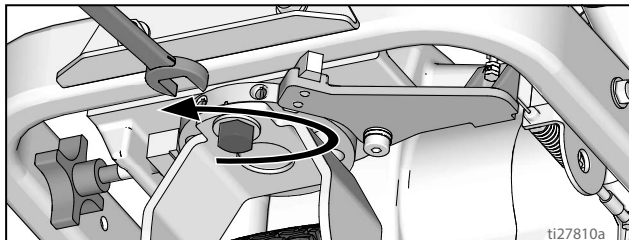


2. 必要に応じて、調節器を緩めるか、締めます。注: より多くのネジ山が露出されると、ガントリガーとトリガープレートの間隔が少なくなってしまうことを意味します。
3. レンチを使用して、調節器のロックナットを締めます。

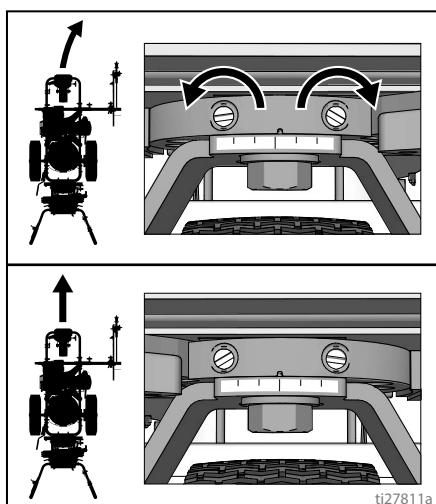
直線の調整

前輪は装置を中央に揃えるようにセットされていて、操縦者が直線を形成することを可能にします。時間とともに、ホイールがずれて、再調整が必要になる場合があります。前輪を再び中央に揃えるには、以下の手順に従います。

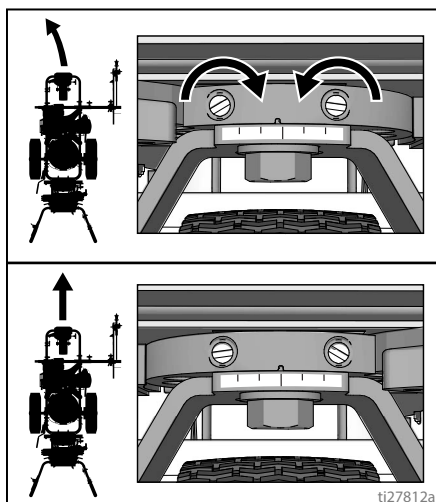
1. 前輪ブラケットのボルトを緩めます。



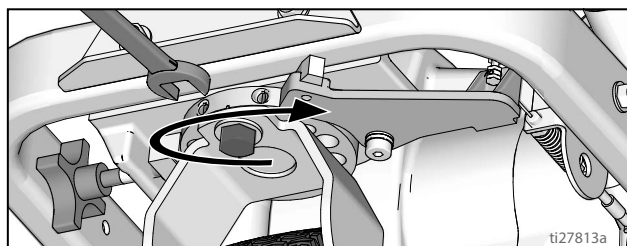
2. ストライパーが右に弧を描く場合、左のセットねじを緩め、右のセットねじを締めることで、微調整を行います。



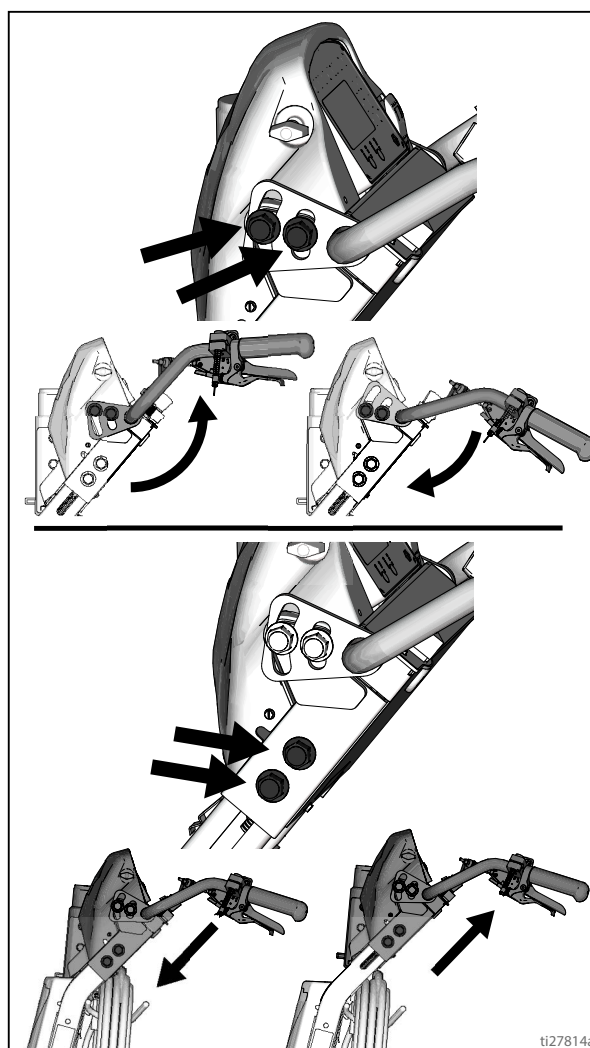
3. ストライパーが左に弧を描く場合、右のセットねじを緩め、左のセットねじを締めます。



4. ストライパーを進めます。真っ直ぐにストライパーが進むまで、手順2と3を繰り返します。ホイールアライメントプレート（ホイールアライメントプレート）のボルトを締めて、新しいホイール設定をロックします。



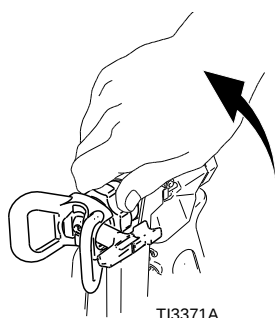
ハンドルバーの調整



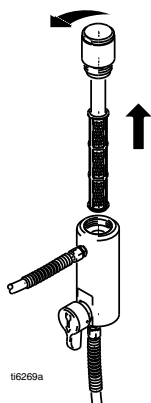
クリーンアップ

本装置は、圧力が手動で開放されるまでは、加圧状態が続きます。加圧状態の液体による皮膚の貫通などの重大な傷害を避ける、また液体の飛散や可動部品から生じる重大な傷害を避けるため、ディスペンスの停止の後、および装置の清掃、点検、サービス作業の前に、圧力開放手順に従ってください。

1. 圧力開放手順、10 ページを実施してください。
2. すべてのガンからガードとスイッチ先端を外します。



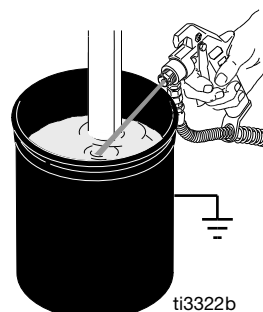
3. キャップを緩め、フィルタを外します。フィルタを付けずに組み立てます。



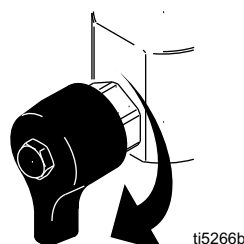
4. フィルター、ガードおよびスイッチ先端を洗浄液の中で洗浄します。



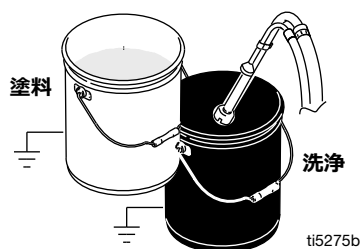
5. 洗浄用液体がある程度入っている接地済みの金属缶にサイフォンチューブを入れます。接地用ワイヤを実際のアースグラウンドに接続します。始動手順10 - 16 (12 ページを参照) を実施してスプレーヤー内の塗料の洗浄を行います。水を使用して水性塗料の洗浄を行い、ミネラルスピリット溶剤（ホワイトスピリットとも言う）を使用して油性ペンキの洗浄を行います。
6. ペンキのバケツに向かってガンを構え、水または溶剤が出るまで引き金を引着続けます。



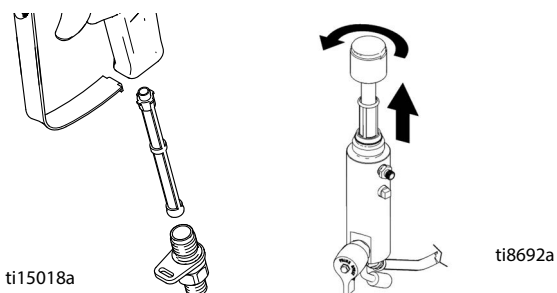
7. ガンを溶剤または水のバケツに移動します。バケツに向かってガンを構え、装置全体のフラッシングが完了するまで引き金を引き続けます。
8. ガンの引き金を引いたまま、プライムバルブを下に回します。それからガンの引き金を放します。ドレンチューブから出る液体が透明になるまで洗浄液を循環させます。



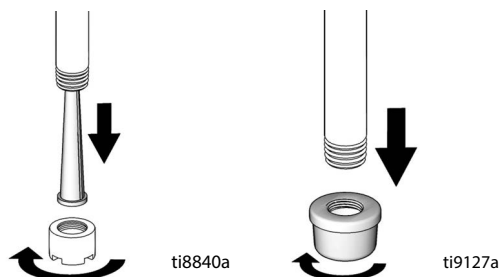
9. サイフォンチューブを洗浄用液体から引き上げ、スプレーヤを 15 から 30 秒間作動させ、液体を排出します。油圧式バルブをオフにします。エンジンをオフにするか、電動モーターをオフにしてプラグを外します。



10. 引き金ロックを掛けます。フィルタが装着されている場合は、ガンおよびスプレーヤから取り外します。清掃し、点検します。フィルターを再び取り付けます。



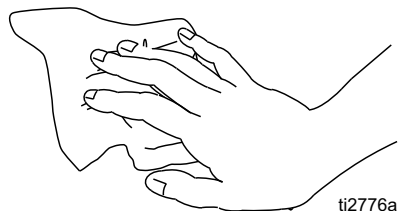
11. モデルによって、ナットとインレットストレーナースクリーンを吸い込みチューブの底から外すか、インレットストレーナーを緩めて外します。必要に応じて、ストレーナースクリーンを洗浄および交換します。再度組み立てます。



12. 水で洗浄した場合には、ミネラルスピリットまたは Pump Armor で洗浄して、凍結や腐食を防止するための保護コーティングが残るようにします。

13. 燃料バルブを「閉」の位置にします。

14. スプレーヤー、ホースおよびガンを水または軽油を染み込ませた雑巾で拭きます。



メンテナンス

LineLazer 130Hs

定期メンテナンス

毎日: エンジンオイル量を点検し、必要に応じ注油します。

毎日: 油圧オイル量を点検し、必要に応じ注油します。

毎日: ホースに摩耗および損傷がないか点検します。

毎日: ガンの安全装置が正常に動作するか点検します。

毎日: プライム/スプレードレインバルブが正常に動作するか点検します。

毎日: ガスタンクを確認し、注油します

毎日: 置換ポンプがしっかり締まっていることを点検します。

毎日: 材料のピストンロッド上での蓄積、および、パッキンの早期摩耗を防止するため、容積型ポンプのパッキンナットでTSLを満タン以上に入れます。

供用開始から 20 時間後: エンジンオイルを排出し、汚れていないオイルを注入します。正しい油粘度についてはホンダエンジン取扱説明書を参照してください。

毎週: エンジンのエアフィルターカバーを取り外し、エレメントを清掃し、必要なら交換します。異常にほこりっぽい環境で運転する場合、フィルターは毎日チェックしてください。

毎週/毎日: 油圧ロッドから異物を除去してください。

運転開始から 100 時間後: エンジンオイルを交換します。正しい油粘度についてはホンダエンジン取扱説明書を参照してください。

半年に 1 回: ベルトの摩耗をチェックして、必要に応じて交換します。

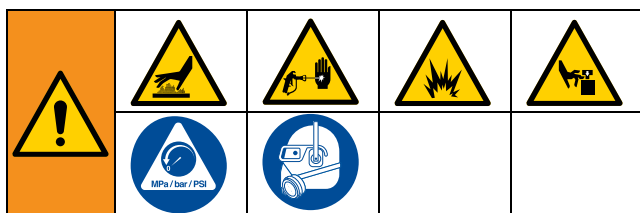
年1回または2000時間毎: 油圧オイルとフィルターエレメントを Graco 油圧オイル 169236 (5 ガロン/18.9 リットル) または 207428 (1 ガロン/3.8 リットル) およびフィルターエレメント 246173 ㊦と交換します。ページ24を参照。

点火プラグ: BPR6ES (NGK) または W20EPR-U (日本電装) プラグのみを使用してください。プラグに 0.7 ~ 0.8 mm (0.028 ~ 0.031 インチ) のギャップを作ります。プラグの取り付けおよび取り外しの際は、スパークプラグレンチを使用して下さい。

キャストホイール

1. 毎年1回、スプリングワッシャが一番下に来るまでダストキャップを締め、ナットを1/2~3/4回転分元に戻します。
2. 毎月、ホイールのベアリングにグリースを塗布します。
3. ピンが磨耗していないか確認します。ピンが磨耗している場合、キャストホイールの中に遊びが生じます。必要に応じてピンを裏返すか、又は交換してください。
4. 必要に応じてキャストホイールの位置を確認してください。位置合わせを行うには、**直線の調整**、18 ページを参照してください。

トラブルシューティング



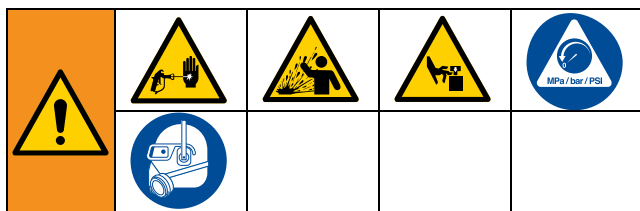
問題	原因	解決策
ガスエンジンが始動しない	油圧が高すぎる	油圧のつまみを反時計回りに回して、一番低い設定にしてください
エンジンが起動しない。	エンジンスイッチがOFFです。	エンジンスイッチをオンにします。
	エンジンがガソリン切れです。	ガスタンクに再注油してください。ホンダエンジン取扱説明書を参照。
	エンジンオイル量が少ない。	エンジンを始動してみます。必要な場合は、オイルを再充填してください。ホンダエンジン取扱説明書を参照してください。
	スパークプラグケーブルが外れているか、または破損している。	スパークプラグケーブルを接続するか、またはスパークプラグを交換してください。
	エンジンが冷たい。	チョークを使用します。
	燃料シャットオフレバーがオフになっている。	レバーをオンの位置にします。
	オイルが燃焼チャンバに漏れる	スパークプラグを外します。スターターを3、4回引きます。スパークプラグを清掃するか、または交換してください。エンジンを始動させます。オイルが漏出しないようにスプレーヤを真っ直ぐに立てます。
エンジンは動作するが、排気ポンプが動作しない。	ポンプバルブがオフになっている。	ポンプバルブをオンにします。
	圧力設定が低過ぎる。	圧力調整ノブを時計方向に回し、圧力を上げます。
	液体フィルタが汚れている。	フィルターを清掃します。
	チップまたはチップフィルタが詰まっている。	チップまたはチップフィルタの汚れを除去します 取扱説明書311254を参照して下さい
	乾燥した塗料排気でポンプピストンロッドが詰まっている。	ポンプを修理します。説明書 311845 を参照してください。
	ベルトが摩耗、故障、またはブリーから外れています。	交換します。
	油圧作動油が少ない。	スプレーヤーを止めます。液を補充してください*。
	油圧式モーターがシフトしない。	ポンプのバルブをオフにします。圧力を下げます。エンジンをオフにします。油圧モーターが移動するまで、ロッドをてこを使って上下に動かします。
置換ポンプは作動するが、アップストロークの出力が少ない	ピストンボールが固定されていない。	ピストンボールのサービス作業を行ってください。説明書 311845 を参照してください。
	ピストンパッキンが磨耗または損傷している。	パッキンを交換します。説明書 311845 を参照してください。
置換ポンプは作動するが、ダウストロークの出力が少ない、および/または両ストロークとも出力が少ない。	ストレーナが詰まっている。	ストレーナーの汚れを除去します。
	ポンプの O リングが磨耗または損傷しています。	O リングを交換します。説明書 311845 を参照してください。
	インテークバルブボールが材料で詰まっているか、適切にシールされていない。	吸入バルブの汚れを除去します。説明書 311845 を参照してください。
	エンジンの回転数が低過ぎる。	スロットル設定を高くしてください。
	吸引チューブ内でエアが漏れている。	吸引チューブを締めます。
	圧力設定が低過ぎる。	圧力を高くしてください。
	液体フィルタ、チップフィルタ、またはチップが詰まっているか汚れています。	フィルターを清掃します。
	粘性の高い材料使用時のホースの大幅な圧力低下。	大きな直径のホースを使用するかまたはホース長を短くするか、またはその両方を行います。1/4 インチで 100 ft より長いホースを使用するとスプレーヤの性能が著しく低下します。最適な性能を得るには、3/8 インチのホースを使用します (最小22 ft)。

問題	原因	解決策
ポンプのブライムが困難。	ポンプまたはホース内に空気が入っている。	すべての接液部を点検し、しっかりと締めます。 エンジン回転数を下げ、ブライミング中は可能な限りポンプをゆっくり回転させます。
	吸入バルブに漏れがある。	吸入バルブの汚れを除去します。ボールシートに切れ目や摩耗がなく、ボールが適切に取りつけられていることを確認します。バルブを再組立します。
	ポンプパッキンが磨耗しています。	ポンプパッキンを交換してください。説明書 311845 を参照してください。
	塗料の粘度が高すぎる。	塗料販売業者の推奨に従い塗料を希釈します。
	エンジン回転数が高過ぎる。	ポンプのブライミングの前にスロットル設定を下げます。
エンジンの無負荷回転数が高い。	スロットルの設定がうまく調整されていない。	エンジンが無負荷で3700-3800rpmになるようにスロットルを再設定します。
	エンジンガバナが磨耗している。	エンジンガバナの交換またはサービス作業を行います。
低いストール圧または動作圧がディスプレイに表示されている。	新しいポンプまたは新しいパッケージ。	ポンプのならし期間では、最大100ガロンの材料を吸引します。
スロートパッキンナットへ塗料が大量に漏れる。	スロートパッキンナットが緩んでいる。	スロートパッキンナットスペーサーを外します。漏れが止まる程度までスロートパッキンナットを締めます。
	スロートパッキングが磨耗または損傷しています。	パッキンを交換します。説明書 311845 を参照してください。
	排水ロッドが磨耗または損傷している。	ロッドを交換します。説明書 311845 を参照してください。
ガンから液体が出ている。	ポンプまたはホース内に空気が入っている。	すべての接液部を点検し、しっかりと締めます。ポンプを再度ブライムします。
	チップの一部が詰まっている。	チップの詰まりを除去する 取扱説明書311254を参照して下さい
	液体供給の量が少ないか、空になっている。	液体供給を補充します。ポンプをブライムします。液供給の点検回数を増やし、空の状態のポンプを運転しないようにします。
油圧式モータピストンロッド・ワイパまわりに過度の漏れ。	ピストンロッド・シールが磨耗あるいは破損している。	これらの部品を交換してください。
液の送出が少ない。	圧力設定が低過ぎる。	圧力を高くします。
	容積型ポンプのアウトレットフィルタ（使用済みの場合）の汚れ、詰まり。	フィルターを清掃します。
	ポンプ注入口までの吸い込みラインが締っていない。	締めます。
	油圧式モータが磨耗あるいは破損している。	スプレー装置をGraco社販売代理店まで修理の為に持ちください。
	液体ホースの圧力が大きく下がる。	直径がより大きなホースを使用するか、またはホース全長を短くします。
スプレー装置が過熱。	油圧式コンポーネントに塗料の蓄積がある。	清掃する。
	エンジンオイル量が少ない。	オイルで満たします。
油圧ポンプの騒音が大きい。	油圧作動油の量が少ない。	スプレーヤーを止めます。液を補充してください*。

*油圧作動油レベルを頻繁に確認してください。低くなり過ぎないようにします。Graco が認証した油圧作動油のみを使用してください。

油圧オイル／フィルタ交換

取り外し

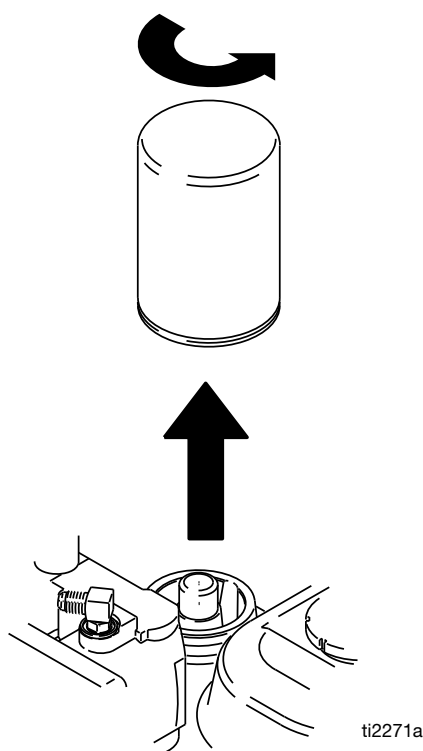


本装置は、圧力が手動で開放されるまでは、加圧状態が続きます。加圧状態の液体による皮膚の貫通などの重大な傷害を避けるため、また液体の飛散や可動部品から生じる重大な傷害を避けるため、吐出を停止する場合、および装置の清掃、点検、整備の前に、圧力開放手順に従ってください。

1. 圧力開放手順 (10 ページ) を実施してください。
2. 油受けまたはボロ布をスプレーの下に置いて、排出される油圧オイルを受けます。
3. ドレンプラグを取り外します。油圧オイルを排出させます。
4. フィルタのネジをゆっくりと緩めます。オイルは溝に流れ込み後部から排出されます。

設置

1. フィルタガスケットに、オイルの薄い膜を適用します。ドレンプラグとオイルフィルタを取り付けます。ガスケットがベースに接触したら、オイルフィルタを 3/4 回転締めます。
2. 4.73 リットル(5 クォート) の Graco 油圧オイル 169236 (20 リットル/5 ガロン) あるいは、207428 (3.8 リットル/1 ガロン) で満たします。
3. オイル量を点検します。



ti2271a

技術データ

LineLazer 130HS (17H447, 17H448, 25P336, 25P337)		
エンジン	Honda GX120cc	
	米国	メートル法
最大使用液圧	3300 psi	227 bar、22.7 MPa
最大フリーフロー排出量	1.3 gpm	4.9 lpm
回転/ガロン(リットル)	85 cpg	22.5 cpl
油受け容量	1.25 ガロン	4.73 l
油圧	1825 psi	124 bar
最大先端サイズ		
1 ガン	0.037	
2 ガン	0.029	
騒音レベル (dBa)		
音響出力	110 dBa、ISO 3744 準拠	
音圧	96 dBa (3.1 フィート (1 m) で測定)	
振動レベル*		
左手	2.90 m/秒 ²	
右手	2.83 m/秒 ²	
* 毎日8時間曝露した場合のISO 5349に準拠した振動		
インレット/アウトレットのサイズ		
インレット塗料ストレーナ	16 メッシュ (1190 ミクロン) ステンレス鋼スクリーン、再 使用可能	
アウトレット塗料フィルタ	50 メッシュ (250 ミクロン) ステンレス鋼スクリーン、再使 用可能	
ポンプインレットサイズ	1 インチ npsm(m)	
液体アウトレットサイズ	3/8 npt(f)	
寸法/重量		
全高	44.5 インチ	113.03 cm
長さ	68.25インチ	173.36 cm
幅	34.25インチ	87.0 cm
重量 (乾燥時、梱包を含まない)	263 ポンド	119 kg
すべての商標または登録商標は、各所有者の財産です		

接液部品: PTFE、ナイロン、ポリウレタン、V-Max™
 レザー、タングステンカーバイド、ステンレス鋼、ク
 ロムめっき、ニッケルめっき炭素鋼、セラミック

LineLazer 130HS		
エンジン	Honda GX160cc	
	米国	メートル法
最大使用液圧	3300 psi	227 bar、22.7 MPa
最大フリーフロー排出量	1.3 gpm	4.9 lpm
回転/ガロン(リットル)	85 cpg	22.5 cpl
油受け容量	1.25 ガロン	4.73 l
油圧	1825 psi	124 bar
最大先端サイズ		
1 ガン	0.037	
2 ガン	0.029	
騒音レベル (dBa)		
音響出力	110 dBa、ISO 3744 準拠	
音圧	96 dBa (3.1 フィート (1 m) で測定)	
振動レベル*		
左手	2.90 m/秒 ²	
右手	2.83 m/秒 ²	
* 毎日8時間曝露した場合のISO 5349に準拠した振動		
インレット/アウトレットのサイズ		
インレット塗料ストレーナ	16 メッシュ (1190 ミクロン) ステンレス鋼スクリーン、再 使用可能	
アウトレット塗料フィルタ	50 メッシュ (250 ミクロン) ステンレス鋼スクリーン、再使 用可能	
ポンプインレットサイズ	1 インチ npsm(m)	
液体アウトレットサイズ	3/8 npt(f)	
寸法/重量		
全高	44.5 インチ	113.03 cm
長さ	68.25インチ	173.36 cm
幅	34.25インチ	87.0 cm
重量 (乾燥時、梱包を含まない)	268 lb	121 kg
すべての商標または登録商標は、各所有者の財産です		

接液部品: PTFE、ナイロン、ポリウレタン、V-Max™
 レザー、タングステンカーバイド、ステンレス鋼、
 クロムめっき、ニッケルめっき炭素鋼、セラミック

カリフォルニア州法 65

カリフォルニア州居住者

⚠ 警告 発がんおよび生殖への悪影響 – www.P65warnings.ca.gov

注意

[illegible]

Graco 標準保証

Graco は、この文書で言及されている Graco が製造し自社の名称が付いたすべての装置が、当初の購入者に販売された時点で材料および製造上の欠陥がないことを保証します。Gracoが発行する特別、延長、または限定品質保証を除き、Gracoは販売日から 12 ヶ月間、欠陥があるとGracoが判断した装置のいかなる部品も修理または交換します。この品質保証は、装置が Graco の書面による推奨事項に従って取付、操作、保守された場合にのみ適用されます。

一般的な消耗、または誤った取付、誤用、摩耗、腐食、不十分または不適切なメンテナンス、過失、事故、改ざん、または Graco 以外の構成部品の代替によって引き起こされる誤作動、損傷または摩耗は、品質保証の範囲外であり、Graco は責任を負わないものとします。また、Graco は、Graco の装置と Graco が供給していない構造、付属品、装置、または材料との不適合性、または Graco が供給していない構造、付属品、装置、または材料の不適切な設計、製造、設置、操作、またはメンテナンスによって生じた故障、損傷、または摩耗についても責任を負いません。

この品質保証は、欠陥があると主張された装置を、主張された欠陥の検証のために、認定された Graco 販売代理店に前払いで返却することを条件とします。主張された欠陥が確認された場合、Graco は欠陥のある部品を無料で修理または交換します。装置は、輸送料前払いで、直接お買い上げいただけたお客様に返却されます。装置の検査で材料または製造上の欠陥が発見されなかった場合、修理は妥当な料金で行われます。この料金には、部品、工賃、および輸送の費用が含まれる場合があります。

本品質保証は排他的なものであり、明示または黙示の他のいかなる品質保証にも代わるものです。これには、商品性の品質保証または特定目的への適合性の品質保証を含めませんが、これに限定されません。

保証違反に対する Graco の唯一の義務および購入者の唯一の救済は上記のとおりです。購入者は、他の補償 (これには、利益の損失、売上の損失、人身傷害、または器物破損による偶発的または結果的な損害、または他のいかなる偶発的または結果的な損失が含まれますが、これに限定されません) は得られないものであることに同意します。保証違反に関連するいかなる行為も、販売日から起算して 2 年以内に提起する必要があります。

グラコによって販売されているが、製造されていないアクセサリ、装置、材質、または構成部品に関しては、グラコは品質保証を行わず、特定目的に対する商用性および適合性の全ての黙示品質保証は免責されるものとします。 Graco によって製造されていないが販売されているアイテム (電気モーター、スイッチ、ホースなど) には、メーカーの保証 (ある場合) が適用されます。Gracoは、これらの品質保証違反に関する何らかの主張を行う際は、合理的な支援を購入者に提供いたします。

いかなる場合でも、Graco は Graco の提供する装置または備品、性能、または製品の使用またはその他の販売される商品から生じる間接的、偶発的、特別、または結果的な損害について、契約違反、保証違反、Graco の過失、またはその他によるものを問わず、一切責任を負わないものとします。

Graco に関する情報

グラコ製品の最新情報については、www.graco.com にアクセスしてください。

特許情報については、www.graco.com/patents をご覧ください。

Graco 製品のご注文は、Graco 販売代理店にお問い合わせいただくか、1-800-690-2894 にお電話いただき、最寄りの販売代理店をご確認ください。

本文書に含まれる全ての文字および図、表等によるデータは、出版時に入手可能な最新の製品情報を反映しています。
Graco は、いかなる時点においても通知することなく変更を行う権利を留保します。

説明書原文の翻訳版。This manual contains Japanese. MM 3A3392

Graco 本社：Minneapolis
海外支社：ベルギー、中国、日本、韓国

GRACO INC. AND SUBSIDIARIES • P.O. BOX 1441 • MINNEAPOLIS MN 55440-1441 • USA

Copyright 2016, Graco Inc. Graco のすべての製造場所は ISO 9001 に登録されています。

www.graco.com
改訂 D, 2025 年 10 月